

社会福祉法人種の会 アルテ子どもと木幼稚園

〒164-0001 中野区中野 1-59-5

Tel 03-3365-0602

ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

2023
えんだより



5

ArteKodomotoki

お知らせ

- ファミリーデー：クラスごとの開催を予定しています。ふれ合い遊びと屋上園庭を使ったワークショップを行います。詳細は後日お知らせ致します。
- 保護者懇談会は別紙でお知らせした通りです。
- 春のピクニックは幼児クラスのみとなります。お弁当をご用意下さい。詳細は別紙を参照して下さい。
- 園で使用する持ち物や洋服に名前の記名があるか、薄くなっていないかをご確認下さい。ご協力よろしくお願い致します。

May 5 2023						
sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8 音楽あそび 発育測定	9 0・3歳児 保護者懇談会	10 運動あそび 1・4歳児 保護者懇談会 0歳児健診	11 2・5歳児 保護者懇談会	12	13
14 母の日	15 音楽あそび	16	17 運動あそび	18 危機管理訓練 0歳児健診	19 春のピクニック	20
21	22 音楽あそび 避難訓練	23	24 運動あそび	25	26 誕生会	27 ファミリーデー
28	29 音楽あそび	30	31 運動あそび			



緑をぬける風がさわやかな季節です。

日本では謙虚さが美德とされ我が子自慢は敬遠されがちですが、**保護者懇談会**では、ぜひ子ども自慢で親睦を深めて下さい。本人の魅力をお子さんにも伝えて“生まれきてくれてありがとう”の気持ちを贈りましょう。無条件の愛には大きな力があります。**ファミリーデー**は家族とふれあう日です。言葉をこえた心と体のスキンシップで、あったか〜い気持ちになれたらいいなと思っています。屋上園庭は空も広く花の彩も豊かです。植栽にふれ楽しむプログラムも考えています。

園長 山田寿江

泣いて怒って、良く育つ

赤ちゃんが泣かなかったら大変ですね。「泣く」のは、赤ちゃんの言葉です。両手を伸ばして“抱っこ〜”という仕草、友だちの顔を触って“あなたは誰？”も呼びかけの代わりです。物の取り合いは、“僕の！”“私も使いたい”“取らないで！”という心の叫びで、気持ちがぶつかって、押したりかみついたりといった行為（言葉）になることもあります。言葉が増えると関り方も変わっていきます。

ピコ組

もう赤ちゃんじゃないよ
だって認めてほしいんだもん
だけど、甘えたい時もある
時々 わからなくなる…
気持ちを受け止めてほしい

アト組

広がっていく世界
ふりむくとそこに大好きな先生
みつけたよ 何かな…
出会うものすべてが新しい
瞳の奥がキラキラしている

2歳頃の「ヤダー」「ダメ！」のイヤイヤ期。自我の芽生えは成長過程で重要な時期です。人生で、思いっきり「イヤ！」と言えるのはこの頃だけ。いつの間にか落ち着いて、そんな時もあったなあ〜と思えます。言葉にできない気持は何かな？と、一緒に探っていけたらいいですね。どうにもならない時には、深呼吸…！子どもの「育つ力」を待ちましょう。

PEACE ルーム ～けんかと仲直り～

まるで喧嘩腰…「ごめんね!!」「いいよ!!」のやりとりは、よくある光景です。言葉が達者になっても、気持ちが通い合うわけではありません。大人だって難しいものです。

幼児のピースルームは、自分たちで解決するためのスペースです。泣いている子には、「泣き止んでお話ししよう」と声を掛けます。ふ〜っと息を吐くと気持ちも落ち着きます。ピースルームへ歩いていくうちに仲直りなんてことも子ども同士ならではです。心の基盤を土台に、関わる力をつけていく子ども達です。気持ちを伝え合い、心を交わすのは子どもも大人にとっても大切なことですね。

ナノ組

どうかな？
やってみよう… できるよ！
上手くいかない時もあるけれど
またやってみればいい
友だちと一緒に
知恵を出しあって

「お兄さんお姉さんなんだ」

4月から新しいクラスでの生活が始まりました。幼児クラスでは「もう4さいクラスになったんだよ」などと、進級した喜びの声が聞こえてきました。1歳児クラスが部屋の前の園庭で遊んでいた時の事。0歳の部屋を覗くと、赤ちゃんが遊んでいました。

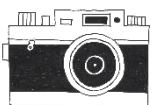
“ぼくたちが遊んでいた部屋に、小さい友だちがいる” というような、不思議そうな表情をみせていました。又、「赤ちゃん！」と大きな声が聞こえてきました。自分たちより小さい友だちの存在を知り、年上という気持ちが生まれてくる場面でした。どうすれば聞いてくれるかな？こうしてもらって嬉しい！年上年下それぞれの思いを経験していく中で、異年齢との関わりを知っていきます。



毒ジャガイモの実験が引き継がれました。 主任：黒木



3月の卒園間近の日、昨年度の5歳ナノ組さんが1年間毒ジャガイモの実験で行ったことを4歳ナノ組さんに発表しました。発表を見た4歳さんからは「すごい面白かった」「いい匂いになって良かった」「どうして緑色になったのか分からなかった」などの意見がでました。残った毒ジャガイモ15個は今年度の新5歳に引き継がれました。早速、Kくんが中心になって新しい実験がスタートしています。目的は緑色を取ること。1つはそのまま土の中に入れる。もう1つはカビが生えないようにビニールに入れて土の中に入れてみました。3歳さんも4歳さんも観察を楽しむ姿があります。さてさてどうなるでしょうか。



※今月の表紙の写真は真里子先生が撮ったナイスショットです。公園のこいのぼりが触りたくて、だっこしてもらい手を伸ばしたシーンです。

表紙イラスト：5歳ナノ組 かこさん、かえでさん、しかさん、よしきくん（辻）

5月のイメージ画を共同制作、こいのぼりのイメージがいつしか海の中に展開していきました。

Oato

入園当初は子ども達の泣き声が部屋中に響いていた 0歳アト組。「寂しいよ〜」「おなか空いたよ〜」「眠たいよ〜」と自分の気持ちや感情を泣くことで表していました。おむつ替え、食事や授乳をしてもらったり、抱っこしてあやしてもらったりするうちに、保育者との距離も少しずつ縮まってきたのか、涙の数も少なくなってきました。

ベビーカーに乗って園庭を散歩すると気持ちが晴れたように涙も止み、友だちの肩にもたれてスヤスヤと夢見心地。Iさんは、立ち乗りバギーに掴まって膝を曲げ伸ばししながら嬉しそうな笑顔を見せてくれました。



室内では、保育者に見守られているという安堵感があるのか、ハイハイで自由に動き回っています。興味のある玩具に向かって行ったり、鏡に映った自分の姿にニコリしたり。寝ていることが多いKくんとYさんは、保育者に抱っこされることに嬉しさを感じられるようになったのか、マットに下すと「もっと抱っこして!」というように泣き出すこともあります。



1歳児室に遊びに行ったHくん。担任以外の保育者にもすぐ馴染み、年上の子ども達に隠ることなく遊んでいました。ゆったりとした気持ちで子ども達に接することを心がけ、子ども達の笑顔につなげていきたいと思います。

1ato

1歳アト組に進級して一か月が過ぎました。慣れ保育期間を終えた新入園児3名も進級した友だちと一緒に元気いっぱい過ごしています。1歳アト組の前には0歳室側につながる園庭があります。散歩に出かけることもありますが、すぐに出られる園庭も魅力的。天気の良い日は戸外遊びを楽しんでいます。

ミュージシャン♪

子ども達がタライの周りでキャッキヤと楽しそうに遊んでいました。タライをひっくり返し、上にパラパラと砂利をのせています。1人がタライを叩くと、砂利が飛び跳ねて音が鳴りました。すると、3人が揃ってタライを叩き始めたのです。砂利がタライの上で跳ねてリズムミカルな音が響いていました。叩く度に砂利が踊る太鼓に、満面の笑顔の子ども達。ついに歌声まで聞こえてきました。タライひとつで楽しい遊びができるのですね。友だちと一緒に楽しい遊びを発見し、大満足の表情でした。



バナナ！



はじめて園庭に出た日のことです。子ども達が「バナナ！」と集まっていた。園庭にバナナ？まさか。指さす先を見て見ると……ヤツデです。バナナ全体というよりはバナナの端っこ部分に色や形がそっくりで保育者も大爆笑。園庭には、他にもキウイ（本物）、夏みかん（本物）もあります。そして、2歳ピコ組側の園庭には砂場や巨大丸太、木製の坂道などもあるのです。別の日に給食室からもらった野菜の切れ端を園庭のテーブルに置いてみました。「ニンジン！」「ダイコン！」と本物の野菜の登場に大喜び。ままごとに使ったり野菜を積み上げてみたりと笑顔で遊んでいました。この一年で楽しい経験がたくさんできると良いですね。

2pico

新しい先生と新しい友達

新しい友達が2名入り、17名で2歳ピコ組での生活が始まりました。最初の頃は、知らない先生や場所で不安だったのでしょうか。パパやママと離れたくなくて、泣いたり部屋に入ることを嫌がったりしていましたが、少しずつ園生活にも慣れてきて、笑顔を見せてくれるようになりました。外で遊ぶことが大好きなDくんとTくん。園庭に出ると自分で靴を履こうと頑張り、嬉しそうに砂場に向かいます。Dくんは、保育者に見守られながら、お鍋に砂を入れて大きなお皿に「ジャー」と繰り返し入れることに夢中です。Tくんは、友達になったKくんと一緒に並んでシャベルで穴掘り。楽しくて満面の笑みを浮かべています。安心して遊んでいいところなんだとってくれたのでしょうか。これからもっと関係が深まり、関わりも増えていきます。今から楽しみです。



「入れて」「いいよ、一緒にあそぼう！」

Aくんはフラフープ電車で遊ぶことが大好き！園庭に出ると「とって～」とフラフープを指差します。一人で電車に乗ることを楽しんでいると、友達が「入れて」とやってきました。そんな時Aくんは、必ず「いいよ」と言って友達をフラフープの中に入れてあげるのです。そして、嬉しそうな表情で「一緒にあそぼう！」と声を掛けます。段ボールの空き箱に砂を入れて集まって遊んでいる友達を見て、「なにしてるの？」と近付いて来たAさん。顔を上げて「え？」と言い、「お砂で遊んでるの」と答えるKくん。2歳ピコ組になった子ども達は、保育者を介さなくてもあそびをとおして、友達同士でやりとりをする姿が多く見られるようになってきました。一人ひとりそれぞれに成長してきた子ども達を温かく見守っていききたいと思います。



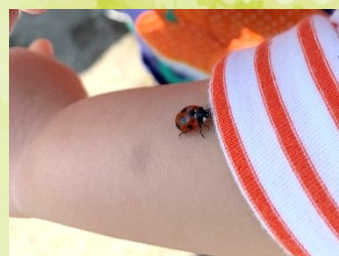
3nano

～お兄さんお姉さんのように…～

2階での新しい生活が始まって早くも1ヶ月が経ちました。新入園児3名を迎え、3歳ナノ組さんは一層賑やかに！身の回りのことを自分でやろうとする姿、ルールを覚え「それはダメだよ、危ないから。」と子どもたち同士で確認し合う姿もみられるようになりました。また、異年齢での活動も多くなりました。同じ玩具で遊んだりお散歩に行ったり……。4、5歳のお兄さんお姉さんから思いやりのある接し方を受けることで、子どもたちも少しずつ相手を思いやる心を育み、成長しています。



(名前は) ホッチーにしよう。
かわいいから。



～てんとうむしのホッチー！～

ポカポカと暖かい春の陽気、屋上園庭に黒い斑点の赤い小さな友だちがやってきました。そう……てんとうむしです！発見した子どもたちは大興奮。「てんとうむし！」「かわいい～」と口々に小さな友だちを愛でていました。Hくんは名前をつけたいです。「ん～、ホッチーにしよう。かわいいから。」その一言で小さな友だちにホッチーという素敵な名前がつけました。次にホッチーのお家づくりがはじまりました。砂場で使うままごとの容器を家に見立ててお家を作ります。花や草を入れてお家やお庭をイメージ！ホッチーが入ると嬉しそうに「ホッチー、ホッチー」と呼びかけながらその様子を観察していました。子どもたちの小さな生き物と触れ合うその姿から、可愛がる気持ちやお世話しようとする優しい気持ちが育っていくのを感じました。

4nano

～1か月が経ちました！～

新しいクラスになって1か月、ちょっぴり不安な様子もありましたが、子ども達は毎日元気に過ごしています。新入園児のAさんも新しい園での生活に慣れてきた様子です。ある日、公園で砂のケーキをDさんとEくんが作っていました。その楽しそうな様子を見て、「私も入れて！」とAさん。すると、DさんとEくんは「いいよ！」と言って仲間に入れてあげました。そして3人でお父さん、お母さん、子どもになって、家族でバースデーケーキを作り始めました。それからしばらくの間、AさんはDさんを「お母さん」と呼びながら仲良く遊んでいました。このように、子ども達は遊びの中で会話を重ね、人間関係を構築して、自分達で新しい4歳ナノ組を作っています。来年の3月には、どんなクラスになっているのでしょうか。今から楽しみです！



～サーキットも頑張っています！～

4歳クラスになると、サーキットの難易度も上がっていきます。少し大変でも子ども達は毎回果敢に挑戦しています。そして自分自身が頑張っている様子だけでなく、友だちのことも配慮している様子がみられます。ある時、Bさんがジャンプをしようとする時Cくんが着地用に敷いてあるマットの上に座っていました。Bさんは、「Cくん、どいて！」と叫びました。それでも、Cくんはどいてくれません。すると、「Cくん、そこに座っていたらぶつかるよ。危ないから違う所に座って。」とBさん。Cくんは危ないことに気づき、マットから離れました。サーキットを30分行なうことは体力を消耗します。それでも、周りにはいる友だちに配慮している姿に成長を感じました。

これからも、子ども達はどんどん成長していきます。保護者の皆様と担任がひとつのチームになり、子どもの成長を支え、見守っていきたくと思っています。引き続き宜しくお願い致します！

5nano

ぎゅっ！

新入園児 1 名を迎え、24名で5歳ナノ組の生活がスタートしました！

新環境になり、年長として過ごすことの特別感や期待感、そして少しのドキドキも感じていることでしょう。そんな子ども達も色々な場面で安心を感じたり、はたまた友達に安心を与えたりしながら過ごしています。



散歩に行くとき、ドキドキしているとき、一緒にあそんでいるとき……。園生活の中では色々な場面で友達や保育者と手を繋ぐ機会があります。ぎゅっと手を繋いでいるだけで、少し心強くいられる気がします。

入園早々、たくさんの友達の前で自己紹介をする Y 君。保育者とぎゅーっと握った手からは、ドキドキした気持ちを感じ取れました。散歩のときには、友達が積極的に手を繋いでくれました。リードしてくれる友達がいると、はじめての公園にも安心して向かえます。

友達とケンカをしたり、寂しい気持ちになったりしたときには、ぎゅーっとハグをして“大丈夫だよ”と思いを伝えることもあります。「おはよー！」と笑顔でぎゅーっとハグをしてくれる子ども達に保育者が安心をもらっていることもあります。

ふれあうことの温かさは、安心する気持ちを感じさせてくれます。

小さな生き物にだって

屋上でダンゴムシに似た虫を発見。調べるとそれはワラジムシでした。

“ワラジムシは無害だけど畑の野菜などを食べる”という生態を知った子ども達の会話を紹介します。

S 君 「僕達のご飯がなくなっちゃうよ〜」

A 君 「ワラジムシさんも畑のご飯がおいしいんじゃない？」

お家にご飯がないから畑に来るんだよ」

S さん「何か持って来て食べさせたら？」

A 君 「かぼちゃは食べられないよ、大きくて丸いから」

考えた A 君は葉っぱを山盛り持って来ました。

A 君 「食べてほしいな〜」

そこに4歳さんが見つけたダンゴムシも仲間入り。

A 君 「やったー！家族が増えたー！！」



自分のことのように喜び、また新しい家族を探しに行く A 君。小さな生き物との関わりから、家族がいたり食べ物があったりすることの大切さや安心感を子ども自身も感じているのだらうと思いました。

「雲が出てくるお家だよ、すごくなるんだよ

くもくもで、どこかに飛んでっちゃうお家なんだよ」(3歳ナノ組 Nくん)



「ノリノリあそび」

以前にもこちらで話題にした事がありましたが、2階の幼児の制作コーナーに「紙のおたすけ箱」があります。その中には半分に切って使った折り紙の残りや、一度は紙飛行機などに変身したものの、いつの間にか持ち主の手から離れて部屋の隅っこにとり残されたよ

うな折り紙を再び開いて戻したものなどが集められています。つまりは使い古されてキチンとした折り紙としては使えなくなった紙のリサイクルボックスという訳です。今やサステナブルな社会が常識とは言え、子ども達にとっては真新しい折り紙の方が魅力的なのは言うまでもありません。それでもおたすけ箱の紙を使いたくなるような遊びはないかと考え、子ども達と始めたのが「ノリノリあそび」です。

おたすけ箱の中の紙を子ども達と一緒にビリビリに破きます。先ず破く感覚自体が楽しい。さらに「長いのが切れた」「これハートだよ」と、子ども達は偶然出来上がった形で見立て遊び。そして紙片がたくさんたまったところで昔懐かしいでんぷん糊を用意し、大きな紙にそれらを自由に貼っていきます。

でんぷん糊を使うのは、身体に無害なことと貼るために必要な適切な糊の量を体感するためです。それでは、さっそく子ども達の様子を見てみると……

本当に楽しそうに「ノリノリあそび」をしているMさんは、指先にとった糊を丁寧に紙にぬります。一枚貼るごとに「ここは海、ここはプーさん、ディズニーランドってミッキーのお家がある」とお話を聞かせてくれます。



向かい側に座っていたNくんは、三角形の赤い紙を貼るとさっそく「これはボクのお家だよ～先生のじゃないよ～」と話し始めます。「雲が出てくるお家だよ、すごくなるんだよ」とどんどん空想が広がっていきます。

「くもくもで、どこかに飛んでっちゃうお家なんだよ～」

一枚の紙片から、大人では考えもつかない世界に飛び出して行くことができるのが、年少さんの素晴らしいところです。

年少の子の多くが、作品を作りながらそれを後追いするようにイメージをもったり、画面の中に偶然できた形に後から意味づけしたりするのに対し、年中年長と年齢が上がるにつれて、作品を生み出すプロセスも大きく変化していきます。

5歳になると、色の紙を貼る前に既に頭の中に作品のイメージが出来上がっていることがほとんどです。そして自分のイメージに必要な色や形を選んで貼っていくという作り方になっていきます。ですが、ここに注意すべき点があります。

イメージと作品を客観的に見る目が育ってくるこの時期に、大人が不用意に『上手かどうか』という観点での言葉がけをしてしまうと、子ども達が他者の目を気にしだし表現に対して臆病になってしまいかねないのです。



『表現』は本来自由なものです。子ども達にはその自由さを存分に楽しむ時間と経験を保障し、私達大人は作品や子どもが発信する思いや言葉にじっくりと耳を傾け、一緒に楽しませてもらいましょう。(文責：一然)

Lunch & Snack time

食育だより

年度が始まって一か月。0歳ナノ組さんは慣れ保育と合わせて一日2回の離乳食へと進んでいます。野菜スープとかつお昆布だしで仕上げた離乳食。口をいっぱい開けて、もぐもぐとおいしそうに食べています。一さじ毎に声を掛けながら一人ひとりの発達に合わせて進めています。

春の「旬」を体験しました

スナップえんどうのすじとり

春が旬のスナップえんどう。ある日、八百屋さんから緑あざやかなスナップえんどうがたくさん届きました。4・5歳さんがスナップえんどうのすじとりを手伝ってくれることに。栄養士に教わりながら、一つ一つ丁寧にむいてくれました。途中で切れてしまったり、実が折れてしまったり…。がんばってむいてくれた野菜たちは翌日の美味しいおひるごはんに大変身！



アルテの庭

0歳アト組のお部屋からみえる「夏みかん」の木。昨年は鈴なりで大豊作のみかんでしたが、今年はさみしい様子。今年はみかんがあまりとれない「裏作」といわれ、植物ホルモンの関係で翌年の収穫が少なくなるそうです。みかんにも休憩が必要なんですね。

今月の旬の食材

アスパラガス・春キャベツ・いちご・さやえんどう・グリーンピース・スナップえんどう・そらまめ・にんじん・新じゃが・新たまねぎ・筍・かつお・甘夏



たけのこのあくぬき

5歳ナノ組さんが『たけのこ』の皮むきをしてくれました。くんくん匂いをかきながら、べりべりとたけのこをむいてくれました。ぱっくり二つに割ってみるとそこには…？「かぐや姫はいなかった～」そんな声が聞こえてきました。もしかしたらどこかのたけのこに潜んでいるのかも。

アルテの行事食

5/9 新巻シャケちゃん来園 鮭を食べようランチ

[昼食] ご飯・鮭のコーンフレーク焼き
きゅうりとツナのサラダ
ベーコンとじゃが芋のスープ・バナナ

5/19 春のピクニック風

[昼食] おにぎり（鮭・青菜）・鶏のから揚げ
茹で野菜のおかか和え
お花にんじん・うさぎりんご

5/26 お誕生会

[昼食] ロールパン・ふんわりハンバーグ
春野菜のサラダ・ホクホクポテト
コーンスープ・フルーツ盛り合わせ
[おやつ] お誕生日ケーキ🍰

毎月の献立表はホームページでご確認ください。



ほけんだより

5月8日から新型コロナウイルス感染症が「2類相当」から「5類」へ変わります。
5類移行後の感染対策「5つの基本」が提言されました。



① 自宅療養・医療機関受診

○発熱・下痢・嘔吐・発疹などの症状が出てきた場合には、無理せず自宅で療養し、加えて体調が良くないときは医療機関を受診しましょう。
○高齢者や重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理を厳重にしましょう。



② 場面に応じたマスクの着用

○外出時はマスクを携帯し、マスクの着用を呼びかけられている場面では、できるだけ着用に応じましょう。
○咳エチケットの実施を心がけましょう。



③ 換気・三密の回避

○不特定多数の人がいるところでは、換気をしましょう。
○人との間隔をあける、すいている時間や移動方法の選択、すいた場所の利用などによって、呼吸器感染症の感染リスクを下げるすることができます。



④ 手洗い習慣

○食事前、トイレ後、家に帰った際などには、20～30秒程度かけて流水と石鹸で丁寧に手を洗いましょう。適切な手指消毒薬の使用も可能です。



⑤ 適度な運動や食事

○一人一人の健康状態に応じた運動や食事、禁煙など、適切な生活習慣を理解し、実行することが大切です。特に基礎疾患のある方は、かかりつけ医などのアドバイスを参考にして、体調管理に気をつけましょう。

厚生労働省より

～ゴールデンウィーク後の生活リズムの乱れに注意！！～

長期休み中は夜更かしをしたり、普段と異なる生活になりがちです。休み明けにそのままの状態に登園すると、朝起きるのがつらくなったり、寝不足で体調を崩すこともあります。休み中も早寝早起きを意識し、規則正しい生活を心がけましょう。



発育測定 5月 8日(月)

0歳児健診 5月10日(水)

5月18日(木)

5月保健指導 「早寝早起き」

